



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3 20 2-03 4 2

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
- アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
- 東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
- 「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
- あずさ部部長主題 「未来のために行動しよう」
- 東京西クラブ会長主題 「居心地の良いワイズライフを楽しもう」

2025年1月号

NO 580

一つの部分が苦しめば、すべての部分が苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が喜ぶのです。

コリントの信徒への手紙一 12章26節

本年度後半の活動に思う

神谷幸男

あっという間に今年も1年の半分が過ぎ去ってしまいました。

特に2025年在京ワイズ新年会のホスト役を仰せつかり、高齢者集団の手に余るため東京武蔵野多摩クラブと東京たんぼぼ Y サービスクラブの応援を得て開催することができました。両クラブとは毎月の例会を合同で行っている仲です。他と協力し合い支えれば力が生まれることを実感も致しました。

さて、後半、本年度の冒頭で今年は「活動」よりも心休まる例会を楽しもうと呼びかけました。日頃の心配ごとや悩みごとから、仮にひとときでも解放されることがよいことだと。実際、3クラブ合同の例会でしたが3回は会食を

中心とした懇親の会や軽音楽を楽しむ会でした。後半も心引き締まる卓話中心の例会もあるなかで、多くは会食を中心とした楽しい懇親のときが持てたらいなと思います。

しかし同時に、東京 YMCA 国際ホテル専門学校に学ぶ自費留学生を細やかながら支援する活動は小さな業ではありますけれども、小さいからと言ってとるに足りない業でないと思いを張って行っていますから続けたいと思いますし、できればもう少しでも大きくしたいなと思います。後半はこの業の意義を覚えて少しずつでも大きくしていきたいものです。



お正月風景の移り変わり

昨今の年末の風物詩は、アメ横の雑踏と街のイルミネーションのニュースが多いようだが、先日あるデパートで立派な門松を見た。マンションが増えたこともあり、ドアにお正月リースを飾って越年し、お飾りは神社に戻らずいつの間にか消えていく。

外国からのお客様が増えて久しいが、ちよっぴり日本らしさが薄まっていくことが寂しい。

クラブ役員

- 会長 神谷 幸男
- 副会長 本川 悦子
- 書記 村野 絢子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

12月の記録

在籍者数	12人	武蔵野多摩	3人	ニコニコ	0円
(内功労会員)	1人	たんぼぼ	3人	クラブファンド	114,715円
出席者数	10人	ビジター	2人	ファンド残高	44,715円
メーキャップ	1人	ゲスト	2人	ホテ校ファンド	7,290円
出席率	100%	出席者合計	20人	ホテ校残高	26,714円



吉祥寺「梅の花」で3クラブ合同クリスマスランチ例会

12月3クラブ合同 クリスマス例会報告

今年は東京たんぼぼクラブの主導で12月21日(土)11:30~13:30、場所は吉祥寺の東急百貨店9階のレストラン「梅の花」で開かれました。

参加者は東京たんぼぼクラブ3人、東京武蔵野多摩クラブ3人、東京西クラブ10人、ビジター2人、ゲスト2人の計20人の参加があり、楽しい会がたんぼぼクラブ会長の小原史奈子ワイズの挨拶で始まりました。

料理は湯葉懐石でした。年を考えての胃に優しい湯葉料理を堪能しました。皆さんで近況報告を行いました。話の内容がどうしても病の話が多く、皆で笑いのなか進みました。

そこで一句『年の瀬に やまいの話 盛り上がり』楽しい時間を過ごしお開きとなりました。

(大野貞次)

出席者：<メンバー>宮内・山口・渡辺(東京武蔵野多摩)、小原・服部・藤江(東京たんぼぼ)、石井・大野・神谷・河原崎・篠原・高嶋・本川・村野絢子・村野繁・吉田(東京西)、<ビジター>江口耕一郎・比奈地康晴(東京)、<ゲスト>麻生由美子・大輪匡史

—12月事務会報告—

日時：12月26日(木)

16:00~17:55

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、本川

<報告事項>

◎12月3クラブ合同例会報告

吉祥寺にある日本料理店「梅の花」にて懐石料理を楽しむ会食例会。ゲスト・ビジター4人を含め出席者20人であった。当クラブ10人の出席。

◎11月の記録の確認

◎11月会計(12/26まで)報告承認

<協議事項>

議題①在京ワイズ新年会会場準備の総仕上げの確認。承認された。

議題②当日任意配布する「WHO198~269回のコース案内」の開示がされた。承認。

議題③WHO終了に関する挨拶状の件

挨拶状(吉田明弘さん起案文)を承認した。

挨拶状の頒布について

頒布先：毎回のWHO案内状通知者(名簿あり)。承認。

頒布方法：上記名簿記載者の宛名書きした葉書に上記挨拶状

を印刷し、郵送する。承認。(なお、2025年1月12日に実行された)

(書記代理 神谷幸男)

第2回あずさ部評議会

第2回あずさ部評議会が甲府市山梨YMCAで開催されます。関東は暖冬が続いていますが、山梨の清々しい冬の空気を吸って、交流しませんか。

日時：2月8日(土)13:00~16:00

(登録受付開始：12:30~)

会場：山梨YMCA 3階 大澤英二記念ホール『ベテル』

会計からのお願い

後期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ





1月11日(土)、新年の在京会長が東陽町センター隣の日本語学校で開かれ、その後ホールとカフェテリアで賀詞交歓会が開かれました。下の写真は東京グリーンクラブの樋口会長から提供を受けました。



日々の中から どうすればよかったか？ 村野絢子

ドキュメンタリー映画を見た。上映していたのは、ポレポレ東中野。題名は「どうすればよかったか？」

この映画を撮った監督の家族の話です。医師で研究者である両親の許に姉と8才年下の弟の私。姉は優秀で親の影響で医学部に進学した。ある日突然姉が豹変し、救急車で病院の精神科に入院した。しかし父は翌日家に連れ戻した。

姉は問題ない、正常だが勉強を強いられて統合失調症のふりをしているだけだ、と私に説明した。以来説得しようとする私は両親と意見が合わなくなり家を出た。

その後日本映画学校に入り、自分のように、とても困っているの

に聞いてもらえない人びとに出会い、その人々を記録し、声を伝えたいとドキュメンタリーを制作していた。

2001年に撮影を始めたのは、姉の最初の異変から25年後であった。帰省するごとに家族の姿を記録し始めた。鍵をかけ姉を家に閉じ込められているのに気がついた時は、両親を説得して支笏湖までのドライブを提案した。

終わりは姉の亡くなるまでと決めていたが、認知症が出てきた母が急死し母から聞けなかったの、父にインタビューすることを考えていた。私は事実を確認し無理に聞かないようにした。

質問の核心で、父は母の統合失調症に対する差別意識から隠そうと判断し、母は父の考えに従ったと答えた。それ以上聴くことはしなかった。

笑顔が少ないこの物語に、病を得た姉が弟に見せるピースサインが所々に見られるのが良かった。

このドキュメンタリー映画を観た一人一人に「どうすればよかったか？」と問いかけられている。監督はタイトルを「姉が統合失調症を発症し、考えたこと」としたが、完成直前に先のタイトルになったと言う。

この映画を見ている最中、頭の中には全く別の友人夫妻（二人とも日本画家）とその家族が何度も浮かんだ。その紹介は次号で！



カメラに向かってほほ笑む姉

YMCA Today

■新年明けましておめでとうございます。ホテル学校では1年生はホテル実習中。残すところあと1ヶ月ほど、インバウンド客の急増、国内旅行の復活など、忙しいホテルで実習生は奮闘しています。

実習が終わると、待たなしで2月からは就職活動が本格的に始まりますので、たくさんの良い経験を積んで戻ってきて欲しいです。そして2年生は今春からこの忙しいホテルが活躍の場となります。1月6日から授業がスタートし、2月までの短い学期ですが、卒業に向けてラストスパートです。それぞれが良いスタートを切れるようしっかりとサポートしたいと思います。

【今後の行事予定】

◆「ソシアスフォーラム 2024」

2月1日 会場：山手センター

◆「第900回記念早天祈祷会」

2月3日

説教：古賀博牧師（日本基督教団早稲田教会）

会場：山手センター（懇談会も予定）

◆「全体職員研修会」

2月11日

会場：社会体育・保育専門学校
講師：佐渡加奈子氏（認定NPO法人カタリバ アダチベース拠点責任者）

◆「総主事就退任式」

3月29日

会場：日本基督教団霊南坂教会
司式：古賀博牧師（日本基督教団早稲田教会）

■9月例会の卓話に参加いただいた多文化共有スペース▽（さんかく）では、外国にルーツのある子どもたちのディアウトプログラム「みっくす！」が1月19日に実施予定です。

前回は11月に行われ「川越」に。ご存じの通り川越は江戸時代のようなまち並みが有名です。鯛みくじが人気の氷川神社や、他にもたくさん神社やお寺があったり、「駄菓子屋横丁」には、飴やおせんべいなど日本のおやつが安く買えるお店がたくさんあったり、「小江戸」と呼ばれる川越のまちを散策しました。

担当主事 横山弥利

編集後記

改めて、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

先日行われた在京クラブ、合同新年会は無事終わることが出来よかったですね。私も3部の懇親会の司会で疲れ、家に帰りましたら batan kyu でした。また最近になりましてから足の裏のしびれがひどくなり難儀をしています。どうぞ皆様もお体をお大事になさってください。

さて1月号のブリテンの発行がまたもや遅れてしまい申し訳ございません。また皆様に寄稿していただき感謝いたします。（T/O）

